



〒227-0064 横浜市青葉区田奈町 76 青葉区区民交流センター内  
c/o Aoba Community and Cross-Cultural Center, 76 Tana-cho, Aoba-ku, Yokohama-shi, Kanagawa Pref. 227-0064  
TEL 045-989-5266 FAX 045-982-0701 E-Mail aobaloungeintl89h1@t07.itscom.net HP http://aoba-lounge.com



## たくさんの出会いと たくさんの共感を！

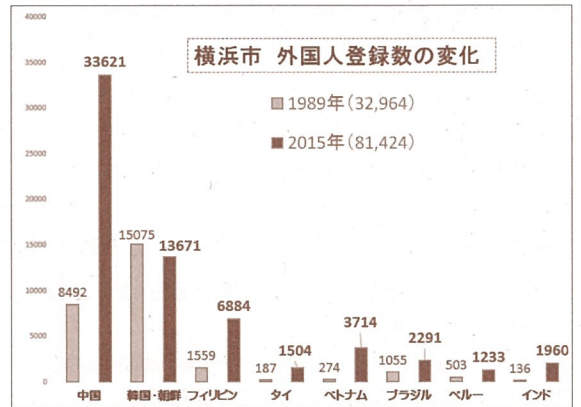
1990年3月にラウンジニュース1号を発行し、2005年7月50号、今回で100号となりました。この25年の間に、横浜市の外国人登録数もおおよそ33,000人から81,000人と2.5倍になりました。中

でも中国は4倍、タイ8倍、ベトナム、インドは14倍と増えています。さまざまな所で働く外国人に出会います。いろいろなことばが私たちの周りで聞こえてきませんか？青葉国際交流ラウンジの役割も国際交流・国際理解から、多文化共生へと変わってきました。

あなたの隣にはどんなことばを話す人が住んでいるのでしょうか？

どのような国からこの横浜にやってくるのでしょうか？

文化や生活習慣の違いが、トラブルの原因になるのではなく、私たちの生活を豊かにする、そんなきっかけになるような出会いをラウンジではたくさん作っていかれたらと考えています。



国際児童画展は1996年から始めて20年になります。毎年ちがうテーマで国内外の小学生、中学生から絵を募集します。20年の間には大地震や津波があり、外国では戦争も起きました。世界の動きが児童画を通して見えてきます。歴史の中から子どもたちの絵をいくつか選びました。お楽しみください。

9.11の時も3.11の時も電話やメールがきました。世界はひとつだと感じます。  
—ニューヨーク  
—福島

日本に送る絵をPTAで決めています。—ユタ  
日本の花は色が違いますね。—ハワイ  
日本からの絵は近くの図書館に飾ってあります。—フロリダ

中国から  
クラスで喧嘩があったとき話し合いで解決しました。その時のテーマは"人のためにしてあげられること"でした。泣いている子もいました。—ニューヨーク

チェコから

日本から

アメリカから

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



# となりの外国人は、こんな時、あんなことを。

2015年11月29日「日本語スピーチ大会」出場者の発表内容から紹介しています。さらに内容を知りたい人は青葉国際交流ラウンジホームページをご覧ください。



**インドネシア**  
一番心配していたことは、イスラム法で許されたハラール料理を、日本で食べられるかどうかでした。…食堂でハラールラーメンやハラール唐揚げなど食べられることなどがわかり、私の心配はなくなりました。  
※ハラールはアラビア語で「許可されたもの」を意味します。食べることが許されている食材や料理を指します。



**中国**  
日本の生活の好きなところを話します。まずサービスが良いところ、病院やお店で相手の人の立場に立って接してくれます。



**インドネシア**  
ある日「トリ肉」を買いに行き「トラ肉をください」といって、店員をびっくりさせてしまいました。こどもが小さいころ、渋谷駅でこどもだけを乗せて電車が発車してしまい、日本語で説明もできず、パニックになってしまいました。周りの人たちの助けでこどもと無事に会えてよかったです。



**インドネシア**  
突然の地震の時、スカーフをさがしているうちに地震がおさまりに、外に出てもだれもいなかったこともありました。  
※スカーフのことをヒジャブといいます。インドネシアではイスラムの女性は外出時に着けます。

**イラン**  
イランのお正月は3月21日です。お正月前に掃除をしてテーブルにリンゴ、お米など7つの物を飾ります。飾りには愛、健康などの意味があります。



**アメリカ**  
満員の電車なのに、一人づつ乗っていきます。アメリカならなぐったりするかも。コンビニでは、お金の引き出しや支払いができ、コンサートの子チケットが買え、コピーもできるのでびっくり。

**韓国**  
カトリック教会に出会いました。通い始めて祈りをささげていくうちに新たな力を感じ、つらい時も自分を励ます方法もわかるようになりました。

**フィリピン**  
生まれ…最初、日本語をまじがうと笑われましたが、「決シテ怒ラズイツモ笑ッテイル」ようにして頑張ってきました。

**ドイツ**  
最近、西と東のちがいは以前より大きくなったと思います。たとえば給料や失業率などの差、シリアからの難民に対する考え方のちがいなどです。ドイツはまだ完全には統一されていないのでしょうか。経済や気持も統一されるまでは、もう1回25年かかるのかなという気がします。

**タイ**  
初めにおぼえた日本語は「大丈夫」で、マクドナルドで「お持ち帰りですか？こちらでお召上がりですか？」と聞かれ「大丈夫」と答えてしまいました。



**中国**  
そんな時、宮崎駿先生の「千と千尋の神隠し」を見ました。千尋ちゃんから勇気をもらいやる気がでてアニメは魔法のようです。

**中国**  
2011年日本に来て、すぐ日本の青い空も好きになりました。人間も国籍関係なく、きれいな空みたい。自分の人生を色つけて、きれいにする責任があると思います。

**中国**  
今、中国では昔とちがって自分中心の考え方をする人が多くなっています。私は、もっと人と人の結びつきが深まってほしいと思います。

## インタビュー：学習補習教室について

ボランティア募集中

### 外国につながる子どもたちが勉強をしにやってくる！



水曜日 午後4時～5時半 (小学生) 午後6時～7時半 (中学生)  
現在 8か国24人 (小学生16人 中学生8人)  
子どもたちは生活に必要な日本語をすぐに身につけますが、勉強に必要な日本語は学ばなければ大変なのです。教室責任者の大森さんにお話を聞きました。



**どんな子どもたちが来ているのですか？**  
小学校低学年から中学生まで、年齢も国も日本語のレベルも違います。青葉区以外からも来ています。もっと勉強がしたい、自分にあったペースで勉強がしたいという子どもたちが喜んで来ています。ボランティアに自分の話を聞いてもらえることがうれしいようです。

**困っていることはありますか？**  
住んでいる外国人が増えると、来る子どもたちも増えます。子どもの数に合わせて、ボランティアの人数を調整するのは難しいです。昨年は4月に9名だったのが、9月に10名増え、今年の1月には、さらに5名増えました。6時からのクラスは遅いので、来てもらえるボランティアも限られます。部活の後、がんばって来る子どもたちがいます。ボランティアをしてくださる方を募集しています。

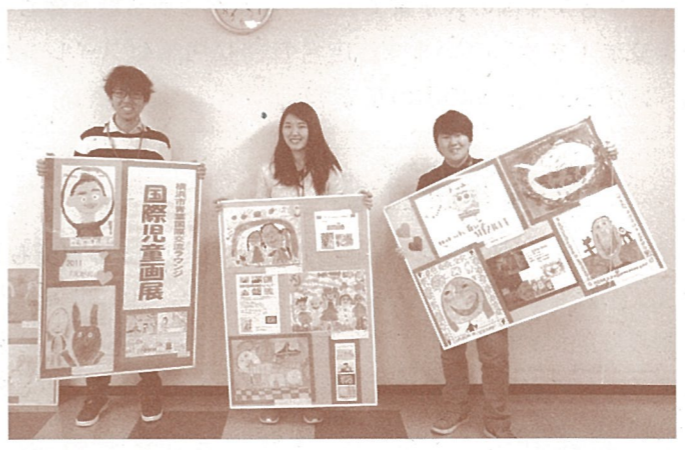
**どんな方にボランティアをお願いしたいですか？**  
一番に、こどもが好きだということです。中学生の勉強は難しいです。自分も学ぶつもりで始めてください。日本に来て日が浅い子どもは日本語の勉強も必要です。子どもの話を聞き、話し相手になることも大切です。子どもたちががみしい思いをせず、ラウンジで楽しく勉強して、学校の授業についていけるといいなと思います。

## 伝える！ 伝わる！ やさしい日本語

横浜市では英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語とやさしい日本語の6言語で情報発信しています。しかし、それ以外の言葉話す人が3割もいます。一人一人にその国の言語で対応することはできません。そこで、みんなにわかってもらうために、「やさしい日本語」を使います。ラウンジでは2月19日・2月26日の2回にわたり、「やさしい日本語とはどのようなものか」「いつ使うのか」「わかるように伝えるためには何が大事か」等について、勉強会をしました。どうすればわかるように伝えられるか、みなさんも一緒に考えましょう！



### 桐蔭横浜大学の学生からこんな感想がありました。(授業としてボランティア参加)



- 日本語の美しさも伝えたいが、それは日本人の文化に合った言葉であるため、外国人にはわかりにくい。はっきりと言う、書くことが大事だということがわかった。
- その場・その時の背景を考慮して伝えることで、もっとわかってもらえるんだなあと感じた。「土足厳禁」を「靴を脱いでください」ではなく、「ここから靴を脱いでください」というともっとわかりやすくなる。
- 日本人も日本語をもっと知るべきだと思った。



しん ちやく しょうかい  
**新着紹介**



よこはま せかいじゅう おお く に ちい く に き ひと す  
横浜には世界中の大きな国から小さな国までいろいろな国から来た人が住んでいま  
す。知らない国の生活を理解するのは簡単ではありません。まず、食べ物を知り、理解の  
糸口にしてはいかがでしょうか。



**BE KOBE**

発行：ポプラ社

はんしん あわじだいしんまい ねん ぼうさい ひと ひと だれ す まち おも まち かか  
阪神・淡路大震災から20年。防災とは、人と人がつながること、誰もが住みやすい町をつくること、そんな思いで「街」に関わ  
てきたひとたち。その中から10組13名が、「新しい神戸」を作るなかで、できたこと、できなかったこと、そして、これから語りました。  
こうべ にほんかくち ふんどう ひと ちえ おも  
神戸で、日本各地で奮闘する人たちの知恵と想いが詰まっています。



**foreigner's table - 日本在住32カ国63人の外国人が贈るHAPPYレシピ**

発行：雷鳥社

い 行ったことのない国の人たちが、どんなおいしいものを食べて幸せな気分を味わっているのか、ちょっと知ることができる本です。  
そこく とお はな にほん て はい しよきく ふう しあわ きぶん あじ  
祖国から遠く離れた日本で、手に入る食材を工夫しながら料理する様子を、写真とレシピで紹介しています。本に登場する人  
の中にはプロの料理家もいますが、多くは普通に家庭で料理をしている人です。



**絵本で学ぶ イスラームの暮らし** 発行：あすなろ書房

えほん まな せかい きょうしん くにほん きょうふ ひと ふ  
世界ではイスラーム教を信じているひとがたくさんいます。日本でもイスラーム教の人は増えていくでしょう。でもまだまだ知らな  
いことがたくさんあります。この絵本では、知っておきたい「イスラームの文化」がやさしく学べます。ドバイに住む10歳の  
少年アフマドの暮らしぶりをたどりながら、イスラームの生活の基本をみていきましょう。



**世界の保存食 全4巻 (果物、野菜、魚、肉)** 発行：星の環会

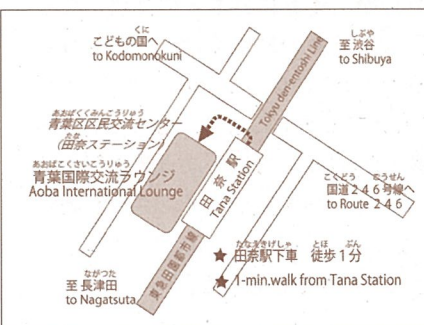
せかい ほぞんしよく ぜん かん くだもの やさい さかな にく はっこう ほし わかい  
保存食は日本だけのものではありません。素材をムダなく食べきるために、保存してとっておく知恵から生まれたも  
ので、その土地特有の暮らしや文化のなかから生まれています。私たちがふだん口にしている保存食は、どこでど  
のように生まれたのでしょうか。収穫や調理の様子、びん詰めのコツや、発酵のふしぎ、保存の知恵など、写真で  
紹介しています。

おいしい情報...鴨居にあるインドカレーの店 SHAPLA- シャプラ

てんしゆ 店主のホセイン・サッジャード・リートンさんは青葉国際交流ラウンジの部会員。バングラディ  
シュから日本に来て26年。「もうすっかり考え方も日本人です。たくさんの人にうちのカレー  
を食べて欲しい。」とカレーと健康について話してくれました。カレーは辛い食べ物ではなく  
スパイスいっぱい健康食。ガーリックやショウガは体を温め、体力をつけたり、体を休め  
る効果のあるスパイスも入って、まさに薬膳とおなじ「薬に頼らないで健康になる」食べもの  
だそうです。「驚きのカレー効果はテレビでも放送されま  
したよ・・・」の説明にカレーを見る目が変わりました。



さて、彼が店を開いたのは「人がたくさんやってきて出会う場」にしたかったか  
ら。日本人だけでなく、さまざまな国の人が来てカレーを食べながら話が弾むそ  
う。彼は、ここでも国際交流！をやっています。店名のSHAPLAはスイレンの  
意味です。スイレンはバングラディシュの国の花です。



へんしゅうこうき  
**編集後記**

とうとう100号になりました。100号までの25年の間にラウンジのある場所も3  
回変わり、横浜市の外国人の数も2.5倍、8万人を超えました。今では、地域の  
一員として生活し働く外国人の方たちと本当によく出会っています。文化の違いも考え  
方の違いも当然のこととして、いっしょに生活をする。分かりあえるために少しで  
も役立つ紙面づくりを続けて次号に繋げていきます。

● 開館時間 午前9時～午後9時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時  
= Office hours : Monday thru Saturday 9 a.m.-9 p.m. Sundays & Holidays 9 a.m.-5 p.m.

● 休館日 毎月第4日曜日および年末年始 = Closed on the 4th Sunday of every month & New Year holidays